

今月のテーマは先月の続きで『お口のケガ・切り傷編』です。

お子様は転倒するとき、頭や顔から転ぶことが多くあります。

口まわりを打ったときにはお口の中の粘膜を切ってしまい出血してしまうこともあります。

今回は、そんな時の対応&処置についてお話します。

## 口の中が切れたとき

**【唇や口の中が切れてなかなか出血が止まらないとき】**

★唇や口の中の粘膜は、柔らかくて出血しやすい部位です。  
小さな傷ならガーゼなどで圧迫して様子を見ましょう。15分くらいたっても血が止まらなかったり、傷口が開いているようでしたら、口腔外科や歯科を受診しましょう。縫い合わせる必要がある場合もあります。



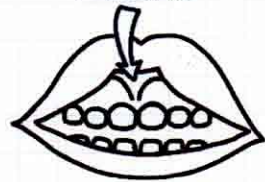
**【舌をかんでなかなか出血が止まらないとき】**

★舌をかんだりして傷をつくると、かなり出血することがあります。唾液と混じって出血量がますます多く見えますが、あわてずにガーゼで舌をはさむように圧迫して、口腔外科や歯科を受診してください。傷が深ければ縫い合わせて止血する場合もあります。

**【上唇小帯が切れたときは、かなり出血しますが、落ち着いて対応を！】**

★上唇小帯(じょうしんしょうたい)という、上くちびるの裏側の真ん中にあるひものような部分は、こどもが転んだときによく切るところです。かなり出血することがありますが、落ち着いて、上唇を上から指で圧迫して止血してあげてください。ふつうは数分で血が止まりますが、心配なときは歯医者さんへ連れていってください。

上唇小帯



## その他で、よくあるお口のケガ

**【ほおや唇をかんで腫れてきたときは、よく冷やすこと】**

★ほおや唇をかんだとき、出血はほとんどないのに、かんだ所が膨らんでくる場合があります。まず、氷をほお張って冷やしましょう。しばらく濡らしたタオルをポリ袋に入れるなどして冷湿布をすると、腫れがひいて、膨れたところを何度もかんだりしないで済みます。痛がったり、相当腫れているときは、かかりつけの歯医者さんに相談しましょう。